

1日目 7月12日(金)

受付 開講式

第一講座

⑨ 2019建まちセミナーin福岡
講座名 新建運

内容 新建福岡に

講師

講座名 福岡はこうして蘇った!

内容
・夜須研究会以降の支那経済と振り返る。
・活性化のポイント、手法分析

講師 福岡支那会員 数名。

第二講座

講座名 地域のつながり

内容
・コミュニティの課題
・道のりと共有する
・介護・サポート
都市と田舎それぞれ。

講師 農文協、市、市、市

名 寿は生きること

内容
・みんなのやりの世界。
・笑って、行ってみよう。

実老所

村瀬さん

自由時間 ショッピングも自由

懇親会(九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に

第三講座

講座名 木挽主棟梁からの提言

内容
木挽住人の魅力と木の匠人による、
木挽の魅力を伝える。木挽の魅力を伝える。
木挽の魅力を伝える。木挽の魅力を伝える。
木挽の魅力を伝える。木挽の魅力を伝える。
木挽の魅力を伝える。木挽の魅力を伝える。

講師 杉岡世邦氏(杉岡製材所)

講座名 木と暮らしは繋がっている

内容
災害も起こさない。保水、水は木が海へ
ずと木と生きてきた(木は意味が、
これからは、続けることができるのか、... 林業担い
日常生活の中で、木が遠くなっている(疎遠)
物を大切に使う。

講師 佐藤宣子さん、杉岡世邦さん、

第四講座

講座名 雨水House

内容
全国的にもめずらしい雨水利用ハウス。
生活水と防災の観点から 知ってほしい。
「都市型雨水」

講師 松野尾、渡辺(福大教授): 施主

昼食休憩

第五講座

講座名 エコリバ

内容
これから先 伸びる世界の
道しるべに。

講師 竹内昌義(みかんみ代表)

閉講式

集団山見せ見物

1日目 7月12日（金）		2日目 7月13日（土）	
第一講座	シナリオのコンセプト 福岡での開催 支部の活動をもっと活性化させるとともに、全国の会員に活性化のための意味とヒントを与える。 会員以外の方にも多く参加を呼びかけ、新建の存在を知ってもらう。	第三講座	【講座名】 建築運動と私 〔内容〕 各地で、新建の活動と仕事を行っている40代、50代の建築関係者のシンポジウム。新建会員として仕事にどうやって向き合っているのか？これからの新建50年を担っていくのか？ 石原（北海道）、江國・木下・野田（東京）、大西（神奈川）、甫立・黒野（愛知）、池谷（富山）、巻口・鹿瀬島（福岡）の皆さんから4名程度。 〔講師〕
	【講座名】 福岡支部の活性化を探る 〔内容〕 活性化のポイント、手法を分析。 〔講師〕 福岡支部数人		【講座名】 新建ゼミ 特別編 〔内容〕 誰のための建築か？ 何のための建築か？ 福岡からの実践 宅老所 寄合 〔講師〕 村瀬、大坪
	【講座名】 住宅論など 〔内容〕 全国的な知名度のある建築家による講演。新建会員以外の建築人にアピール 〔講師〕 藤本昌也・竹原義二		
受付 開講式		昼食休憩	
自由時間 シーサイドももち散策など 懇親会（九州大学西新プラザ） 一般の方も対象に		閉講式 集団山見せ見物	

1日目 7月12日（金）

シナリオのコンセプト

- ◎**新建会員以外の受講者向けの視点**を重視しました。
- ◎近々の社会問題への発信として、**災害関係**の講座を皮切りとする。
- ◎全国的課題である**地域産木材利用**について、九州の最新事例や新たなソリューションを紹介する。できれば**著名建築家**に依頼。
- ◎2日目は、**新建特有の活動にもつながるテーマ設定**とする。
- ◎最後に、新建活動についての講座とし、**新規会員勧誘も見据え**、新建全体の簡単な紹介と、福岡支部の活動を紹介する。

受付 開講式

第一講座

【講座名】災害から命を守る or 熊本地震における支援の報告

〔内容〕

- 地震、火山、豪雨の九州、コミュニティが生命を守る
- 磯田先生の活動をより多くの方に知ってほしい。
- 熊本地震における様々な活動

〔講師〕磯田先生 or 古川保氏

第二講座

【講座名】（九州の**木を活かす**）

〔内容〕

- 最新の木造建築事例
- 地域産木材利用に関する技術的ソリューション

〔講師〕坂茂氏（+川崎先生？）

自由時間 シーサイドももち散策など

懇親会（九州大学西新プラザ） 一般の方も対象に

2日目 7月13日（土）

第三講座

【講座名】福岡のまちと専門家の役割 or インバウンド都市「福岡」

〔内容〕

- 業界向けにはビッグバン・九大移転跡地・カジノなど目白押し
- 一方生活者は生活保護・待機児童などこの二つに専門家としてどう関わる？
- 福岡をメイン舞台に西日本一円に展開するインバウンド業界の実態と課題と将来性を学ぶ。

〔講師〕INOUT 帆足千恵氏

第四講座

【講座名】建物の保存再生への取組と課題

〔内容〕

- 歴史的建築物の保存再生については全国的な課題ではあるが、実践してこれまで取り組まれてこられたオーソリティとしての意見を伺う（具体的には熊本県内での取り組み）

〔講師〕西嶋氏（まちなみトラスト）

昼食休憩

第五講座

【講座名】新建運動のつくり方+福岡はこうして甦った

〔内容〕

- 新建活動の総括（会員外受講者向け重視）
- 新建福岡に学ぶ
- 夜須研究集会以降の支部活動を振り返る
- 活性化のポイント、手法を分析

〔講師〕福岡支部会員数名

閉講式

集団山見せ見物

1日目 7月12日(金)	
シナリオのコンセプト 山→木→住まい→コミュニティー→都市計画	
受付 開講式	
第一講座	【講座名】 木挽き棟梁に学ぶ (内容) 豪雨災害で山も大きな被害を受けています。その現状に対して どういう対策が、行政も含めて取られようとしているか、またはとるべき なのか、林業のおかれたこれまでの流れも含めて、林業家の立場で、 お話していただく。
	(講師) 杉岡世邦氏
第二講座	【講座名】 「地域ネットワーク型家づくりの実践 その後」 (内容) 建まちセミナーin千葉から11年、「地域ネットワーク型家づくりの 実践…民家型工法の提案と展開」として講演いただきました。環境の問題 構造の問題様々な変化も起こりましたが、変わったもの・変わらないもの お話しいただいたその後を振り返り、講演いただきます。 (制作者の独り言:各地の民家型工法の家はどうなったかも知りたいところ です) また長年日本建築士会会長として活動を通じて、出会ったこと・感じたこと 実践したこと等を御披露いただければ……。
	(講師) 藤本昌也氏
自由時間 シーサイドももち散策など 懇親会(九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に	

2日目 7月13日(土)	
第三講座	【講座名】 新建運動の作り方 (内容) 福岡支部に学ぶ 皆様の提案に同じ
	(講師)
第四講座	【講座名】 ○○を考える、など (内容) 考え付きません
	(講師)
昼食休憩	
第五講座	【講座名】 人口減少社会の都市建築のあり方 (内容) 人口減少社会の減少で、空き家が増える中、都市ではマンション や一戸建てがどんどん建つ不思議。 天神ビッグバンでは容積率を上げて、デベロッパーを喜ばせようとしている 福岡の都市計画。 「老いる家・崩れる町・住宅過剰社会の末路」の著者に目からうろこの お話を伺う。
	(講師) 野澤千絵氏又は 可能なら 藻谷浩介氏
閉講式 集団山見せ見物	

1日目 7月12日(金)		2日目 7月13日(土)	
キーワード むすぶ		第三講座 【講座名】 森と暮らし (森とくらしをむすぶ) 〔内容〕 朝倉の森と今回の水害のこと、人と木のこと 〔講師〕杉岡さん	
受付 開講式		第四講座 【講座名】 こうして福岡は蘇った (新建福岡メンバーを結びつけたもの) 〔内容〕 夜須の研究集会準備から始まった、新建福岡夜須高原ストーリー。 〔講師〕片井さん他	
第一講座	【講座名】 日本の木造伝統工法が衰退する前に (木構造の今と昔をむすぶ) 〔内容〕 伝統工法に学ぶ、今の暮らし 〔講師〕宮本さん	昼食休憩	
	第二講座 【講座名】 食と建築 (食べるということ、住むということ。それをむすぶ人) 〔内容〕 生きていくうえに、欠かせない食べるということ。 果たして建築は……。	第五講座 【講座名】 新建今昔物語 (創設メンバーから未来へむすぶもの) 〔内容〕 新建は、どこへ向かおうとしているのか。バトンタッチしていくもの。 〔講師〕創設メンバー、各支部若手中心メンバー、コーディネーター浜崎さん	
自由時間 シーサイドももち散策など 懇親会(九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に		閉講式 集団山見せ見物	

1日目 7月12日（金）		2日目 7月13日（土）	
シナリオのコンセプト 都市・建築・人間			
受付 開講式			
第一講座	【講座名】 都市の展望 〔内容〕日本の将来は、少子化高齢化に道のように対応するかが重要な課題である。そのためには都市の現状に対してどのような姿を描くことができるのか。福岡市ではビッグバーン構想を打ち出しているが、問題点を挙げて批判的に議論をする 〔講師〕福岡在住の都市計画家	第三講座	【講座名】 生活文化と伝統の継承 〔内容〕都市と田舎のバランスが不均衡を是正するためには何が必要だろうか。特に福岡の住民にとって高層住宅建築は日常生活にとって快適性を阻害してはいないか。都市から田舎に住み分ける方法はないのか。伝統的な昔の生活スタイルから学ぶ知恵はないか。 〔講師〕家政学や料理研究家
第二講座	【講座名】 都市景観と観光 〔内容〕都市景観に建築はどのように寄与しているか。都市景観賞などの企画は都市住民に寄与しているか。都市観光に建築や住宅は役立っているか。都市のスカイラインとマクロ景観を維持するには何が必要なのか。観光は都市の第四産業と言われている。そのために必要な選択はあるか。 〔講師〕都市デザイナー	第四講座	【講座名】 自然現象と安全安心 〔内容〕最近の自然災害はどの地域も選ばず全国的である。地震や台風・豪雨が日常的に発生している。安全で安心して生活するためには、先ず個人の住まいから検討してみよう。 自治体の防災担当者
自由時間 シーサイドももち散策など 懇親会（九州大学西新プラザ） 一般の方も対象に		昼食休憩	
		第五講座	【講座名】 地域コミュニティ 〔内容〕今の日本の家族を概観すると単身者が統計的には一位といわれるくらい物理的には寂しい形態になってしまった。昔は大家族制で賑やかだった。戦後は核家族化が進み4, 5人の家庭風景が見られた。それが母子家庭などの変形をして現在は独り者が一杯になった。この変則は人間関係を正常に戻すにはどうすればよいか。それは地域コミュニティを確立することから始まる。日常生活から事故や災害の緊急事態の備えるには地域コミュニティが如何に重要であるか議論 〔講師〕社会学立場から見た住まいの形態とコミュニティの関係を
		閉講式 集団山見せ見物	

1日目 7月12日(金)	
コンセプト 福岡の地で現在進行形で起きている私たちの暮らしにかかわる問題・課題をとらえ、それらに専門家としてどう関わり、さらにはこの時代をどう生きていくかを、福岡支部の活動の歴史を通して展望する。	
受付 開講式	
始 14:00	【講座名】 地域まちづくりの思想と実践
第一講座	〔内容〕 地元設計事務所、地元工務店、地域住民、大学、行政と協同して実践してこられたまちづくりの事例から学ぶ。 ・ 有田のまち並みづくり ・ 山古志村復興住宅 【有田見学会も?】
(100分) 終 15:40	〔講師〕 ☆三井所 清典 氏
始 15:50	【講座名】 福岡市のまちづくり政策と専門家の関わり
第二講座	〔内容〕 カジノやホテル建設、ロープウェーなど企業や業界・観光者のための政策が目白押しな一方で、地域住民が抱える、介護や医療、コミュニティの喪失・空き家や建築紛争などは「自己責任」として隅に追いやられている。専門家(新建)としてどう関わったらよいのかを考える講座にしたい。
(100分) 終 17:30	〔講師〕 福岡のまちづくり政策に精通・研究されていて、建築の専門家の活動に期待し、又は注文をつけることが出来る方
17:30~18:00 自由時間 シーサイドももち散策など	
18:00~ 懇親会(九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に	

2日目 7月13日(土)	
始 9:30	【講座名】 森と木のすまい ~九州北部豪雨を経て~
第三講座	〔内容〕 ・ 森と木 ⇔ 人との距離が遠くなっている ・ 近年多発する水害を森の視点から学びたい 長く森と木、住まいを見つめてこられた杉岡氏から、九州北部豪雨を経た今、改めて「森とすまい」について考えるきっかけを頂きたい。 【朝倉見学会も?】
(120分) 終 11:30	〔講師〕 杉岡世邦 氏
11:30~12:30 昼食休憩	
始 12:30	【講座名】 新建運動が目指すもの ~福岡支部の活動から~
第四講座	〔内容〕 講座の目的: 「建築に関わる人々が『どう生きるか』を考える」 ①新建運動って? → 新建憲章を具体化した活動を広げ、共有する ②そのために行うのが「新建組織の活性化」 福岡支部活動の歴史を振り返り、分析して(②)、その目的である新建運動への展望を開き(①)、さらに参加者が『どう生きるか』を考えさせられる講座 「支部活動についての講座」→「生きがいある建築活動を探る講座」
(120分) 終 14:30	〔講師〕 大坪さん、片井さん 氏
14:30~15:00 閉講式	
15:30~16:00 集団山見せ見物	

1日目 7月12日(金)

<お願い>

- ①TM2の"成果"や"講座企画シート"を参考に講座全体の構成を自由に考えてください。
- ②ブレスト結果を8つのカテゴリーに分類しています。これらのカテゴリーから「満遍なく」「重なって」「集中的に」あるいは「全く別の分野で」などご自由に!
- ③講座内容にぴったりのキャッチコピーなどが閃いたら、それを書いてください。
- ④「講師」欄には、具体的な講師名または相応しい人物像を示してください。
- ⑤8/27のTM5へ印刷(1枚)してお持ちください。参加できない方はEXCELデータをこのMLへ投稿してください。右上のお名前欄をお忘れなく!

会員外の一般の方にも新建活動を知っていただく良い機会です。著名なゲスト講師などのアイデアも盛り込みながら、魅力的なシナリオを考えてみてください。

12:30 ~ 受付

13:30 ~ 開校式

受付 開講式

14:00 【講座名】"水"から考える 持続可能な社会

(内容)

- ・世界と日本の水事情
- ・水をめぐる争い(水道民営化 7月可決も含む)
- ・近年多発している水害について

(講師)

橋本 淳司 氏 (水ジャーナリスト
アグアスフィア代表)

15:50 【講座名】森と木の住まい ~北九州北部豪雨を経て~

(内容)

- ・人が森と寄り添って生きてきた歴史
- ・なぜ、木の住まいが心地よいのか
- ・"森"のおかれる現状・増える水害

(講師)

杉岡 世邦 氏 (杉岡製材所 代表
木挽棟梁)

(30分休憩).....自由時間 シーサイドももち散策など

18:00 ~ 懇親会(九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に

2日目 7月13日(土)

9:00

【講座名】宅老所よりあいを通して考える 地域コミュニティの再構築

(内容)

宅老所内にとどまらず、地域全体で、ながく"若い"と向き合ってきた村瀬さんから、失ってしまった地域コミュニティを再び取り戻すきっかけや仕掛けを学び、考えたい。

(講師)

村瀬 孝生 氏 (宅老所よりあい代表)

10:20

10:30

【講座名】住む人に寄り添う 福岡のまちへ

(内容)

- ・この企画案を思いついたのは、会員の原田さんの九大箱崎移転に関する悩みから
- ・この問題は福岡市の「住民本意で無いまちづくり政策」のひずみからでは?
- ・東京支部では2006年に本を出版し、都のまちづくり政策に対して提言を行なっている
- ・この中に、原田さんの抱える内容に通ずる内容が含まれていた。
- ・最も身近な、会員である原田さんの悩みに応え、それをすくい上げるような講座を福岡支部でも企画したい、と思った。
- ・ロビークバン・九大箱崎・六本松などのまちづくりの問題について学び、考えたい。

(講師)

ふさわしい人

11:50

(70分休憩)

昼食休憩

13:00

【講座名】新緑の活動について

タイムアップ!

(内容)

- ・面白そうな企画だと思いましたが、具体的な講座の内容がまだイメージが掴みきれない。
- ・成功事例を紹介した場合、「それは特殊解決だ...」みたいに「あんなにうまくいかない!」
- ・なので、自分としては、「なぜ、この講座をやるのか」をじっくり考え、核心をつかんだ上で企画にしたい
- ・全国の支部や団体から抱える悩みに応えられる企画にはなりそうなので、実現してみたい!

(講師)

福岡支部 会員

14:20

14:20~15:00

閉講式

(移動30分)

15:30 ~

集団山見せ見物

18:00 ~ 懇親会②(各支部・交流)

2018.08.27 at女性センターアミカス

1日目 7月12日 (金)		2日目 7月13日 (土)	
統一テーマ			
「次世代への継承」 「引き継ぐべきもの」「語り継ぐべきもの」を統一テーマとしては？ 二十一世紀を生きる方たちへのメッセージ バトンリレーを続けることこそに意味があるのか 自然と共生することと、人のために生きること 「二十一世紀に生きる君たちへ」より 福岡支部の活動は、2回ある懇親会中に時間を見て適宜紹介をできれば。			
受付 開講式			
第一講座	【講座名】 熊本地震における取り組み 〔内容〕 熊本地震によって被害を受けた、伝統構法の住宅や貴重な登録文化財などの保存保全を、どのように行っていくのか？ また、次世代に残すための方策とは？ 〔講師〕 磯田先生、古川保氏など	第三講座	【講座名】 福岡のまちづくりについて 〔内容〕 ・天神ビッグバン ・各地で進められる再開発 ・インバウンド都市としてのあり方などについて 〔講師〕 ？
第二講座	【講座名】 木挽き棟梁からの提言 〔内容〕 木造住宅の魅力と木の家が人に与える影響などについて、木材の供給者として語っていただく。また朝倉の水害についても実体験をされた当事者としての視点から、森林の保全を通しての問題点や課題についてなど（木造仮設住宅についても？） ※初日は九州での自然災害を通して、継承すべき課題を示しては？ 〔講師〕 杉岡世邦氏など	第四講座	【講座名】 「地域との繋がり」？もしくは「古民家再生」「環境をテーマ？」 〔内容〕 内容は定まりませんが…。 ・民家大学なども開講されているので、その繋がりで。 ・「新建ゼミ」の拡大版スペシャルとして 〔講師〕 民家再生協会の方々など、宮本氏、江藤氏など
		昼食休憩	
		第五講座	【講座名】 新建活動の継承について 〔内容〕 ・福岡支部のこれまでの活性化に向けての具体的な活動 ・各地の次世代を担う人材の思う事、伝えたい事 ・50周年に向けて語り継ぐべきことは ※2日目の懇親会の前に、新建活動について話題は？ 〔講師〕 福岡支部の会員、各支部の若手、創設時のメンバーなど
自由時間 シーサイドももち散策など		閉講式	
懇親会（九州大学西新プラザ） 一般の方も対象に		集団山見せ見物	

1日目 7月12日（金）		2日目 7月13日（土）	
第一講座	【講座名】	福岡(九州)を通して考える	
	【内容】		
	【講師】		
	受付 開講式		
第二講座	【講座名】	会員活動を元気に継続している団体とは	
	【内容】	～新建福岡は、こうしてよみがえった～	
	【講師】	新建福岡支部会員 2名	
	【講座名】	インバウンド都市 福岡	
第三講座	【内容】	実態 将来性 課題（何が求められるのか）	
	【講師】	INOUT 帆足知恵さん	
	自由時間 シーサイドももち散策など		
	懇親会（九州大学西新プラザ） 一般の方も対象に		
第四講座	【講座名】	福岡のまちと専門家の役割	
	【内容】	天神ビックバン 九大移転	
	【講師】	代 市民による近 建築保存運動 経済的にも説得力の まちなみトラスト 西嶋さ	
	【講座名】	福岡版ご近所コミュニティ	
第五講座	【内容】	人のつながりが希薄な昨今、 あえてコミュニケーションをもつ。	
	【講師】	玉川ビル大家さん	
	昼食休憩		
	【講座名】	木挽き棟梁が今思うこと	
第六講座	【内容】	木材供給 豪雨災害 板倉仮設	
	【講師】	杉岡世邦さん	
	閉講式		
	集団山見せ見物		

1日目 7月12日(金)		2日目 7月13日(土)	
シナリオのコンセプト			
<1日目> ↑ ↓ 縦軸 : 移りゆく時代 (社会の変化と建築世界の在り方) <2日目> ← → 横軸 : 変わらないコト 普遍の課題 (自然・環境・生老病死・衣食住の分野から) <ゆめ> ○ 原点 : 私たち自身の姿勢(取組態勢)			
受付 開講式			
第一講座	【講座名】 インバウンド都市「福岡」のこれから 【内容】 ＊インバウンドの歴史と背景、今後 ＊全国、福岡の現状と課題 ＊今後の展望と我々の姿勢／市民として、専門家として	第三講座	【講座名】 木挽き棟梁からの提言 【内容】 2018年 8月 24日 講演会「今こそ、木に住まう」～住まいは山の樹から考える 春日クローバープラザ
	(講師) 帆足千恵氏／インアウト(株) 副社長		(講師) 杉岡世邦氏／(有)杉岡製材所 社長
第二講座	【講座名】 "降りてゆく時代"の建築とまちづくり 【内容】 ＊資源エネルギー枯渇(PeakOil)、廃棄物(核、プラスチック)の累積、食糧危機・人口減少など文明の下降時代において、建築とまちづくりに関わる人々はどのような姿勢で臨み、どのような方向を目指すのか。 ＊今こそ、建築の役割と可能性を考えたい。	第四講座	【講座名】 "おい"を見守る場をつくる 【内容】 「よりあい」の歴史を振り返ると、そこには常にお年寄りのための「場」づくりがありました。この講座では、「宅老所よりあい」の場づくりの歴史をとおりして「建築とまちづくり」の可能性について共に感じてみたいと思います。
	(講師) 藤本昌也氏／現代計画研究所 名誉会長		(講師) 村瀬孝生氏／宅老所よりあい 代表
自由時間 シーサイドももち散策など 懇親会(九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に		昼食休憩	
		第五講座	【講座名】 団体活動の活性化手法／新建福岡の事例から 【内容】 ＊福岡支部の歴史、活動の推移など報告 ＊支部会員＋全国会員による座談会～会場とのやり取り ＊スライドショー、ミニドキュメンタリー映画、紙芝居、寸劇 ……山笠見物への景気づけとして
			(講師) 福岡支部会員数名、全国会員数名
		閉講式 集団山見せ見物	

1日目 7月12日(金)		2日目 7月13日(土)	
第一講座	通常の講座以外に、特別講座として、2017年九州北部豪雨一被害に 実態と復旧の現状(講師)片井克美(片井建築設計事務所代表)を設 けるのが良いと思います。 また、平和の問題を入れたいとも考えます。「博多港引揚げを通して 平和を考える」(講師)堀田広治(引揚げ港・博多を考える会 世話 人)	第三講座	【講座名】宅老所よりあいの活動を通してみる建築とまちづくりの可能性 (内容) 住まい手による生活の創造が作り出す建築とまちづくり (講師)村瀬孝生宅老所よりあい代表)大坪克也(風土計画代表)
	受付 開講式		【講座名】パッシブデザインの新たな段階 (内容) 理念と設計手法の進化 (講師)江藤眞理子(空設計工房代表)
	【講座名】今こそ、木に住まう (内容) 「住む」ことの原点を森と人との歴史を振り返りながら見つめ直す (講師)杉岡世邦(現代の木挽棟梁)(有)杉岡製材所代表取締役	第四講座	【講座名】国家戦略特区天神ビッグバンを考える (内容)天神ビッグバンとロープウェイ構想の問題を考える (講師)
第二講座	【講座名】木構造の諸問題 木構造を広げるための構造的課題を考える (講師)川崎 薫(株式会社 川崎構造設計 代表取締役)		昼食休憩
	自由時間 シーサイドももち散策など 懇親会(九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に		閉講式 集団山見せ見物

1日目 7月12日（金）		2日目 7月13日（土）			
関わる 巻き込む そして楽しむ 共に ～Be together～		【講座名】 新建福岡の今昔物語（こうして蘇った） 〔内容〕 夜須の研究集会までは、現在の福岡支部とは別ものだったらしい。では、何がどのようになって今の福岡支部はこうなったのか？ 最近、福岡は元気がいいらしい。そのきっかけが以前の福岡みたいな他の支部の変わるヒントになれば・・・ 〔講師〕 片井さん、大坪さん			
受付 開講式					
第一講座	【講座名】 サスティナブル森林 〔内容〕 森林・林業の話、持続的に多面的に森林を守っていくには！！ あえて講師は2名とし（巻き込んで）、これまでの講演内容に+αした内容で、話していただく。 〔講師〕 杉岡世邦氏、佐藤宣子氏 コーディネーター（中島 梢さん）	第四講座	【講座名】 新建50周年に向けて 〔内容〕 新建設立当時の考え（新建憲章が生まれた経緯） 当時と現在の違い。 これから（未来）は、どのように進むと思うか （※各支部から、多くの人を集める狙い） 〔講師〕 創設メンバー、各支部若手メンバー		
	昼食休憩				
	第二講座		【講座名】 インバウンドの観点から見る建築の魅力 〔内容〕 アジアの玄関口「福岡」。地域情報誌の編集者からインバウンド事業に携わってきた講師に、単なる観光だけでなく外国人から見たの日本の魅力。それも建築やまちづくりに関する部分の魅力について、感じたままをお話しいただく。 〔講師〕 帆足千恵氏	第五講座	【講座名】 これからの高齢者住空間 〔内容〕 村瀬さんの介護実務経験と中島先生の家政学をミックス。 誰もこれまで聞いたことが無い講座になることをイメージ。 従来の病院、福祉施設、住宅と違い、高齢者社会の今後を見据え新しい切り口での高齢者住空間について問いかける 〔講師〕 村瀬孝夫氏、中島朋子氏、コーディネーター（矢野 安希子さん）
自由時間 シーサイドももち散策など		閉講式			
懇親会（九州大学西新プラザ） 一般の方も対象に		集団山見せ見物			

1日目 7月12日 (金)		2日目 7月13日 (土)	
DREAM Dynamism Reputation Employee satisfaction Activity Movement		【講座名】 地域コミュニティ (子ども育成～介護) 【内容】 ご近所の困りごとは、地域により悩みも千差万別。 そしてどこでも、子どもから高齢者まで、バランスよく暮らせる環境が望ましい。過去には普通にあった、家族と地域のつながり。 現在も形を変えながら、息づいている実例を・・・ 【講師】 玉川ビルのオーナー、農文協の編集者	
受付 開講式		【講座名】 新建福岡の今昔物語 【内容】 夜須からの今。 そして、現在から未来へ 【講師】 片井さん、大坪さん	
第一講座	【講座名】 今後の技術伝承は??? 【内容】 専門職の職人不足、現場も業界も職場環境は劣悪、手当や休日の条件もグレーで、若者が誇りを持って未来もこの業界を担えるか？ 大手GCは、大手設計事務所は、どんな手立てをしている？ 逆に専門職は、どう乗り越えようとしているか？ 【講師】 大手GC、大手設計事務所、各専門職	昼食休憩	
	【講座名】 これからのアジアとの交流 【内容】 医学にも詳しいお方なので、歴史・文化と絡めながら、これからのアジアをはじめとした、世界の国々との交流について その時、日本の文化で守りたいもの。変えてもよい物。そこに建築とまちづくりの観点も交えて話していただく 【講師】 帯木蓬生氏	【講座名】 自然環境を活かすサスティナブル建築 【内容】 新建会員の中で、実践している実例を報告しつつ、セミナーですのでみらいに向けて夢を語ってもらえれば 【講師】 ノーアイデア	
自由時間 シーサイドももち散策など		閉講式	
懇親会 (九州大学西新プラザ) 一般の方も対象に		集団山見せ見物	